

臨床研究・調査の概要

研究課題名	Stage II /III および CROSS1/2 の閉塞性大腸癌に対する Bridge to Surgery(BTS) 大腸ステントの長期予後に関する多施設共同無作為化臨床試験
研究の概要	<p>【研究の目的・意義】</p> <p>術前に通常の前処置が出来ない閉塞性大腸癌症例に対して、標準治療である絶食後の手術に対して、試験治療である大腸ステントによる減圧後の手術が長期予後で劣っていないことを検証する。</p> <p>【研究対象者】</p> <p>Stage II /III および CROSS1/2 の閉塞性大腸癌の患者</p> <p>【研究の方法】※研究期間を含めて記載</p> <p>Primary endpoint は3年無病生存期間である。Secondary endpoints は、全生存期間、無再発生存期間、患者の生活の質、処置までの閉塞症状、出現率、緊急手術率、持続点滴離脱率、術前退院率、大腸ステントの技術的成功率、臨床的成功率および BTS における臨床的成功率、大腸ステント留置術における合併症発生割合および発生時期、周術期合併症発生割合などとする。</p>
研究資料の入手・閲覧	<p>研究資料については、研究対象者または当院が認める親族等の方からのご要望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障のない範囲で提供いたします。</p> <p>研究資料の入手・閲覧を希望される方は、次へご連絡ください</p> <p>富山市民病院 診療科：内科、外科 役職：副院長 氏名：樋上義伸、藤村 隆</p> <p>TEL 076-422-1112 (代表)</p> <p>FAX 076-422-1371</p> <p>e-mail jimukyoku@tch.toyama.toyama.jp</p>
個人情報の開示に係る手続	富山市個人情報保護条例に規定する手続きに従い、適切に対応いたします。
相談等への対応	研究対象者からの除外を希望される場合、その他当該研究に関する相談等については、関係資料の入手・閲覧と同じ連絡先にご連絡ください。